

- 1 つぎのアルファベット（活字の形）を、^{たいしょう}対称の見方でなにかま分けしましょう。

A B C D E H I M N
O S T X Z

^{せんたいしょう}線対称だけ（たての軸）

A、M、T

^{せんたいしょう}線対称だけ（横の軸）

B、C、D、E

^{てんたいしょう}点対称だけ

N、S、Z

^{せんたいしょう}線対称でも ^{てんたいしょう}点対称でもある

H、I、O、X

- 2 つぎの数字（デジタル数字ではなく、ふつうの活字）のうち、^{せんたいしょう}線対称なもの ^{てんたいしょう}と点対称なものを書きましょう。

0 1 3 6 8 9

^{せんたいしょう}線対称なもの

0、3、8

^{てんたいしょう}点対称なもの

0、8

※ 1 は、たてのぼう 1 本の形とします（かざりのある形は対称ではありません）。そのときは、1 も ^{せんたいしょう}線対称で ^{てんたいしょう}点対称です。

- 3 地図記号や道路標識には、^{たいしょう}対称な形が多く使われています。つぎの形は、^{せんたいしょう}線対称ですか、^{てんたいしょう}点対称ですか。

寺の地図記号（まんじ）

^{てんたいしょう}点対称

〒（ゆうびん局）

^{せんたいしょう}線対称

＋（十字）

両方

↑（矢印）

^{せんたいしょう}線対称

おうちの方へ

- 文字の形は書体によって少しちがいますが、ここではかざりのない活字の形で考えます。
- 線対称で、たての軸と横の軸の両方がある形（H、I、O、X）は、点対称にもなっています。